

☆「かだめし問題」は、平成十六年～二十二年までの鳥取県立高校入試問題の一部です。漢字や語句などの「総復習」として挑戦しましょう。

## 【平成十六年度】

問一 次の傍線部のカタカナを漢字で表したとき、その漢字と同じ漢字を含む熟語を、後のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

「積極的にカカわる」

- ア 貸し出しキカンを延長する      イ 蒸気キカン車を動かす  
ウ 宇宙から無事にキカンする      エ 消化キカンが弱る

問二 次の二つの四字熟語の□には、同じ漢字が入ります。その漢字を書きなさい。

「半信半□」 「□心暗鬼」

問三 「かわいい子には旅をさせよ」ということわざの意味として、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 子どものことを大切に思うならば、旅行をさせて、多くの土地を見せたいほうがよい。  
イ 子どものことを大切に思うならば、親と離れた所で、のびのびとさせたほうがよい。  
ウ 子どものことを大切に思うならば、親もとから離して、苦勞させたほうがよい。  
エ 子どものことを大切に思うならば、自分の望むように、人生を過ごさせたいほうがよい。

問四 次の手紙は、ある中学校の生徒たちが、地域の高齢者施設の皆さんに文化祭の案内をしたものです。手紙を読んで、後の問いに答えなさい。

拝啓

□、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さて、毎年恒例の文化祭を、来週の十一月七日(金)に開催いたします。つきましては、日ごろ交流していただいている皆様を、文化祭にご招待したいと思っております。当日は、地区大会で優秀賞に選ばれた演劇の発表や読書感想文の展示などがありますので、ぜひおいでください。(以下省略)

① 手紙の□に入る時候のあいさつとして、最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 虫の音が聞こえ始め、季節の移ろいを感じるようになりましたが  
イ 青葉が目にしみる季節となりましたが  
ウ 厳しかった寒さもようやくやわらいでまいりましたが  
エ しいに秋も深まってまいりましたが

② 選ばれたのれと同じ意味で使われている表現を含むものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 家の都合で行かれなくなりました。  
イ 彼女の笑顔が思い出されます。  
ウ 人に笑われないようにする。  
エ Aさんが体験された話を聞く。

③ 読書と同じ熟語の組み立てとなっているものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 放水      イ 地震      ウ 真偽      エ 河川

【平成十七年】

問一 次のーの部分のカタカナと、同じ漢字を使う熟語を、後のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

○織イ製品を輸出する。

ア 現状をイ持する。 イイ大な人物と会う。

ウ 規則にイ反する。 エイ産を受け継ぐ。

問二 次の□には、打ち消しの意味を持つ同じ漢字が一字入ります。その漢字を書きなさい。

□能 □許可 傍若□人

問三 「臆」の字を構成している部首名を書きなさい。また、その部首の意味を、次ア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 気持ちに関するもの イ 体に関するもの

ウ 植物に関するもの エ 光に関するもの

部首名

記号

【平成十八年】

問一 次のーの部分のカタカナを漢字で表したとき、その漢字と同じ漢字を含む熟語を、後のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

他人の権利をオカしてはならない。

ア 学級会のシンコウをする。 イ スポーツのシンコウにつくす。

ウ 敵地にシンコウする。 エ 隣国とシンコウを深める。

問二 次の二つの故事成語の( )には、同じ漢字が入ります。その漢字を

書きなさい。

「覆( )盆に返らず」

「背( )の陣」

【平成十九年度】

問一 次のーの部分のカタカナを漢字で表したとき、正しいものを、次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

文化祭のテーマについて、クラスで多数決をトる。

ア 執る イ 取る ウ 捕る エ 採る

問二 次のア〜エの漢字のうち、部首が他と違(ちが)うものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 聞 イ 閑 ウ 閑 エ 開

問三 次の四字熟語の□には同じ漢字が入ります。その漢字一字を、楷書(かいしょ)で書きなさい。

右□左□

(意味：混乱して、あちらへ行ったりこちらへ行ったりすること。)

ことばの知識 伝統芸能—能のう

能は六百年以上の伝統をもつ芸能です。平安時代末期から庶民の間ではやった猿楽や田楽をもとに、室町時代に観阿弥、世阿弥父子が芸術的に高め、今日の能の基礎を作り上げました。音楽の旋律にのって謡い、舞う歌舞劇です。多くの曲目で、主役(シテ)は能面と華麗な衣装をつけて舞います。地謡(じうたい)が人物の対話以外のナレーション的な役割をつとめ、囃子方(はやしがた)が代表的な演目です。

〔平成二十年度〕

問一 次の文章は、図書委員長の文男さんが書いた生徒会新聞の原稿です。ワープロソフトを使ったところ、熟語の変換を二箇所間違えてしまいました。その熟語を抜き出して、正しい熟語に直しなさい。

来週から読書月間が始まります。この期間の図書委員会の取り組みとして、始業時間の前にも図書館を解放し、本の貸し出しを行います。また、昼休憩には、図書委員によるブックトークを企画していますので、興味・歓心のある人は、この機会にぜひ来館してください。

↓

↓

問二 次の文を、意味を変えることなく「生徒は」を主語にして書き直すとうなりますか。主語・述語の関係に気を付けて「生徒は」に続けて書きなさい。

・終了の合図と同時に、生徒の動きがいつせいに止まった。

・生徒は

←

問三 毛筆を用いて、ひらがな「ろ」を楷書で書くとき、筆使いとして、最も適当なものを、次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア ろ イ ろ ウ ろ エ ろ

□

問四 次のことわざと同じ意味のものを、あとのア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

二兎追うものは一兎も得ず

- ア 一石二鳥
- イ 月とすっぽん
- ウ 灯台下暗し
- エ あぶはちとらず

□

ことばの知識 伝統芸能—能と狂言

狂言は、能とともに広まりました。能の幕間に演じられるこっけいな劇です。「笑い」を主題とし、強い者やいばった者をひにくった作品が多く見られます。軽妙なせりふやしぐさで、喜怒哀楽を表現しています。

能と狂言は、能舞台上で演じられます。舞台装置はなく、鏡板とよばれる板壁に松の絵が一本描かれているだけです。作り物とよばれる簡単なセットを置いただけで、舞台は、さまざまな場面になります。

【平成二十一年度】

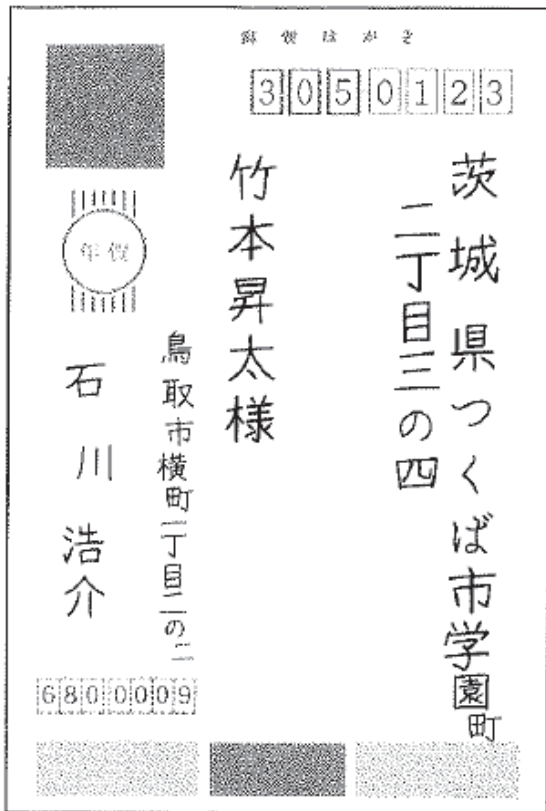
問一 次の文には、二通りの読み方があるのに、送り仮名が名違っているため、どう読めばよいのかわからない漢字があります。その漢字を抜き出して、正しい送り仮名を二通り書きなさい。

国語の授業で万葉集について調べることになり、クラスみんなで因幡<sup>いなば</sup>万葉歴史館を訪ることにした。歴史館には、様々なコーナーが設けてあり、因幡<sup>おわたものやかもち</sup>の国の歴史や大伴家持など万葉の歌人について、詳しく学ぶことができるそうだ。

漢字

送り仮名

問二 次の年賀状は、石川さんが県外に住む友達に出すために練習したものです。より見やすくするために、石川さんほどのようなことに気をつけて書けばよいか、適当なものを後のア～オの中から二つ選び、記号で答えなさい。



ア 先方の住所は、ひらがなを漢字より大きく書いて、番地を住所の行頭にそろえる。  
 イ 先方の住所は、字間と大きさをそろえ、字が行の中心からずれないようにする。  
 ウ 自分の住所・氏名は、より目立つように、先方の住所・氏名と同じ大きさにする。  
 エ 自分の住所・氏名は、表に書くとバランスが悪いので、必ずはがきの裏面に書く。  
 オ 先方の氏名は、はがきの中央に住所よりもやや下げて、字間を広げて大きく書く。

問三 次の熟語の「過」の総画数は何画ですか。

また、「密」の「し」の部分は何画目ですか。それぞれ数字で答えなさい。

画

過密

画目

〔平成二十一年度〕

問1 次の会話は、中学生の海原さんが町内の図書館で職場体験学習をしたときのものです。後の□は、その会話を聞いていた司書の山里さんが、海原さんにアドバイスした内容です。  
 ( ① )には適当な一文を、( ② )、( ③ )には適当な語句を、それぞれ自分で考えて書きなさい。

会話

海原 「何か本をお探ですか。」

利用者 「『鳥取県』について調べているのですが、何かいい本がありませんか。」

海原 「はい。すぐ調べますので、しばらくお待ちください。」

海原 「お待たせしました。こちらが『鳥取県』に関する本のリストになります。」

利用者 「ありがとうございます。とてもたくさんありますね。……

では、この二冊をまず見てみたいのですが。」

海原 「分かりました。すぐにお持ちします。こちらの閲覧室でご覧になれますか。」

利用者 「はい、そうします。あの、ほかにも本を借りているのですが、あと何冊借りることができですか。」

海原 「申し訳ありません。ここでは分からないので、入り口のカウンターで伺ってください。よろしくお願いします。」

山里さんのアドバイス

とてもすばらしい対応でしたね。ただ、何点が気づいたことがあるので、話しておきます。まず、一つ目は『鳥取県』についてといってもたくさん本があるので、利用者に「( ① )」と質問していたなら、もっと本がしぼれたでしょうね。二つ目は言葉のつかい方です。「本のリストになります」と言って渡していましたが、「リストになる」は、何かがリストに変わるわけではないので、「本のリスト( ② )」でよかったと思いますよ。三つ目は敬語についてです。「ご覧になれますか」と「伺ってください」はそれぞれ「ご覧になりますか」と「( ③ )」のまちがいですね。どちらもよくまちがえて使われますから、気をつけてください。

①

②

③

【平成二十二年 度】

問一 次の□の文章は、転校生の水木さんが行った自己紹介です。これを読んで、水木さんの名前のカタカナ部分を漢字にして楷書で書きなさい。

私の名前は水木キタロウといいます。そう聞くと漫画の『ゲゲゲの鬼太郎』を思い浮かべる人がありますが、字は違います。私の場合、キタロウの「キ」は「キドアイラク」の「キ」という字です。「タ」は「タシヨウ」の「タ」、「ロウ」は「ロウドク」の「ロウ」です。「よろこびがおおく、ほがらかな子になるように」とつけられました。どうぞよろしくお願いします。

# 科学

問二 「科学」という文字を行書で次のように書いたとき、筆脈を表す矢印を描いたものとして、最も適当なものを次のア〜エから一つ選び、記号を○で囲みましょう。



問三 次の熟語とその熟語について述べた(1)〜(3)の問いに答えなさい。

比較

上の熟語は、読みやすさを考えてデザインされた「A」体」という書体で表されている。「A」体は点画の太さや「止め・はね・はらい」、「折れ」などの形が強調された形になっており、手書きの文字の形とは異なる。極端な場合には、それによって画数が違って見えることもある。

(1) 文章のAあてはまる言葉を漢字二字で書きなさい。

(1)

(2) 文章の内容をふまえて、「比」の総画数を数字で答えなさい。

(2)

(3) 熟語の組み立てが「比較」とは異なるものを、

次のア〜エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 創造
- イ 縮小
- ウ 詳細
- エ 因果

(3)

## ことばの知識 伝統芸能—歌舞伎

歌舞伎は、今から四百年前に生まれた芸能で、江戸時代に盛んに上演されました。女歌舞伎、若衆歌舞伎を経て、野郎歌舞伎となりました。このころ男性役者による女性歌舞伎は、内容も寸劇から複雑な芝居へと発展していき、現在、内容も寸劇から複雑な芝居へと発展していきながら、現在の形が定着していったのです。